

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2014-122923(P2014-122923A)

【公開日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-035

【出願番号】特願2014-71111(P2014-71111)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/68	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
C 1 2 Q	1/04	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/68
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	37/24
A 6 1 P	9/00
A 6 1 P	9/04
C 1 2 Q	1/04

Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月23日(2015.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心臓障害を示す患者の亜集団を同定するために患者集団をスクリーニングするための方
法によって同定される心臓障害を示す患者の亜集団における患者を処置するための、グリ
ア成長因子2(GGF2)の上皮増殖因子様(EGFL)ドメインを含むポリペプチドの治療有効用量を含む組成物であって、前記方法は、前記集団内の患者の心臓組織における
心臓トロポニンT(cTnT)および心臓トロポニンI(cTnI)の細胞内レベルを検出するステップを含み、cTnTおよびcTnIの対照のまたは正常な細胞内レベルと比較して、それぞれ、患者の心臓組織におけるcTnTおよびcTnIの細胞内レベルが少なくとも50%減少する場合、心臓障害が示され、心臓障害を示す患者の亜集団の構成員として前記患者が分類される、組成物。

【請求項2】

さらにプロテアソーム阻害剤を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

請求項1または2に記載の組成物の治療有効性を決定するための方法であって、

a) 請求項1または2に記載の組成物を含む治療レジメンを開始する前の患者の心臓組織試料における心臓トロポニンT(cTnT)および心臓トロポニンI(cTnI)の細胞内レベルを検出する過程、

b) 前記治療レジメンを開始した後の患者の心臓組織試料におけるcTnTおよびcTnIの細胞内レベルを検出する過程、および

c) 前記治療レジメンの開始前の前記患者の心臓組織試料における c T n T および c T n I の細胞内レベルを、前記治療レジメンの開始後の前記患者の心臓組織試料における c T n T および c T n I の細胞内レベルと比較する過程とを含み、前記治療レジメンの開始後の前記患者の心臓組織試料における c T n T および c T n I の細胞内レベルにおける増加は、前記治療レジメンの効力の正の指標である、過程を含む方法。

【請求項 4】

前記患者が哺乳動物である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記患者がヒトである、請求項 4 に記載の方法。